

# お薬のしおり

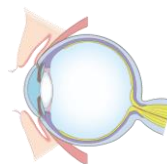
No.233(2021.11)

東京医科大学病院 薬剤部

監修：東京医科大学病院 眼科

## 白内障の手術の際に注意が必要なお薬について

眼の中には、カメラのレンズのような働きをする水晶体という組織があります。この水晶体が加齢などにより白く濁り、視力が低下する病気が白内障です。白内障が進行して日常生活に支障がみられる場合には、外科的手術が行われます。一般的には「超音波乳化吸引術(ちょうおんぱにゆうかきゆういんじゅつ)」と呼ばれる手術で、濁った水晶体を超音波で粉碎して取り除き、その代わりに人工水晶体である眼内レンズを入れます。



その白内障の手術を受ける際の合併症に「術中虹彩緊張低下症候群(じゅつちゅうこうさいきんちょうていかしょうこうぐん)」があり、特定のお薬を使用している場合には注意が必要です。



### ●術中虹彩緊張低下症候群とは？

人間の眼は、茶色や灰色など色がついている部分を虹彩、その真ん中にある黒目と呼ばれている部分を瞳孔と言います。瞳孔が大きくなったり小さくなったりすることで眼に入る光の量の調節を行なっているように見えますが、実際には虹彩が伸び縮みをしていて眼に取り入れる光を調整しています。

白内障の手術の際には、この虹彩を収縮させて瞳孔を大きく開きます。しかし、手術中に突然収縮させていた虹彩が閉じてきたりしてしまうことがあります。これを術中虹彩緊張低下症候群と呼んでいます。

### ●術中虹彩緊張低下症候群が起りやすいお薬について

前立腺肥大症や高血圧に用いられるお薬のなかの「 $\alpha$ 受容体遮断薬」と呼ばれる種類のお薬で、術中虹彩緊張低下症候群は起りやすくなります。この症状はお薬をやめることで防げる症状ではないですが、事前に知っていることで対処することができます。そのため、飲んでいるお薬を事前に伝えて

いただくことがとても大切になります。

＜添付文書に術中虹彩緊張低下症候群の注意喚起の記載があるお薬＞

分類	成分名	先発品名
前立腺肥大症	ウラピジル	エブランチル
	シロドシン	ユリーフ
	タムスロシン	ハルナール
	ナフトピジル	フリバス
高血圧症	ドキサゾシン	カルデナリン
	ブナゾシン	デタントール
	プラゾシン	ミニプレス
	ラベタロール	トランデート
統合失調症	パリペリドン	ゼプリオン、インヴェガ
	リスペリドン	リスパダール

上記のお薬を飲んでいる方が必ずしも術中虹彩緊張低下症候群になるわけではありませんが、お伝えいただくことで手術を行う前に瞳孔を開きやすくする目薬を使うなど、事前に対処することも可能となります。

眼の手術では、飲み薬は何も関係ないと思われる方も多いと思いますが、このように手術中の状態に影響を与えてしまうお薬もあります。

他の病気でお薬を服用されている場合には、白内障と一見関係なさそうなお薬でも、そのお薬の内容を医師または薬剤師へお伝えしていただくことが重要です。

～お薬のことでご不明な点やご不安な点がある際には、医師または薬剤師までご相談ください。～

